

もしもの時、命を守るのは「地域の絆」です ～自主防災組織に参加しませんか？～

自主防災組織とは

地域住民が協力・連携し、「自分たちの地域は自分たちで守る」ことを目的に、自主的に結成する組織のことです。

	日頃の活動	災害時の活動
①	防災知識の普及・啓発	情報の収集及び伝達
②	地域の危険箇所の把握	出火防止・初期消火
③	防災訓練の実施	避難誘導（避難支援）
④	火災予防の呼びかけ	救出・救護活動
⑤	防災資機材等の備蓄・点検	炊き出し・給水活動



なぜ「自主防災組織」が必要なの？

大規模な災害が発生した際、救助や物資などの公的な支援（公助）が、すべての方にすぐに行き届くとは限りません。被害を最小減に抑えるためには、ご近所同士で「誰が、どこで、どのような支援を必要としているか」を日頃から把握し、いざという時に助け合える「共助」の仕組み（組織）が必要不可欠なのです。

「参加する」＝「大変な活動をする」ではありません

活動内容を見て、「難しそう」「自分に何ができるだろうか」と不安を感じるかもしれません。しかし、自主防災組織の活動は、特別な人だけのものではありません。

- ①日頃からあいさつを交わし、顔の見える関係を作ること
- ②災害時の避難経路を確認しておくこと
- ③地域の避難訓練や防災学習に顔を出してみることに

これらも立派な「防災活動」です。まずは、できることから始めてみませんか。あなたの参加が、あなた自身、そして大切な家族やご近所の未来を守る力になります。

お住まいの地域の自主防災組織の活動に参加してみたい方、興味をお持ちの方は、危機管理課までお問い合わせください。



洪水・土砂災害避難対策ワークショップの様子



避難所設営訓練の様子



御坊市の自主防災組織
(市ホームページ)

